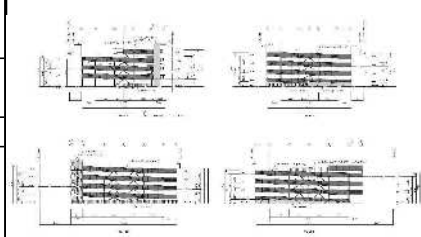




# CASBEE® - 建築(新築) 2021年SDGs対応版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	AFC豊田立休駐車場	階数	地上3階(3層4段)
建設地	静岡県静岡市駿河区豊田3丁目216	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,880時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2023年1月19日
敷地面積	2,009 m <sup>2</sup>	作成者	相模 明
建築面積	1,203 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,590 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

環境負荷 L (0-100) vs 環境品質 G (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

環境負荷 L (0-100) vs 環境品質 G (0-100)

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

SDG	スコア
3(保健)	1.5
4(教育)	1.5
5(ジェンダー)	1.5
6(水・衛生)	1.5
7(エネルギー)	1.0
8(経済・雇用)	1.8
9(イノベーション)	1.1
11(都市)	1.7
12(生産・消費)	1.6
13(気候変動)	1.2
15(陸上資源)	1.3
17(実施手段)	1.1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 関係法令を遵守し、自走式駐車場としての機能性・安全性を確保した、無駄のない建築計画とする。これはCASBEE静岡2021年版による評価結果です。		<b>その他</b> 使用する仕上材を統一して、建設廃棄物の発生抑制に努める。
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 設備配管は、維持管理・更新がしやすいように露出とする。 緩やかな連続傾床式(勾配4%以下)の駐車場として、駐車効率の向上を図るとともに、利便性と安全性を確保す	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内及び建物内の風通しに配慮した配置・平面計画とする。
<b>LR1 エネルギー</b> 評価対象外	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない建材の利用を推進する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用せず、外部空間に対して大気汚染物質を全く発生させない。 近隣への日照障害を抑制するために、建物高さを必要最小限にする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される